

10 ホップ・ステップ・ジャンプ!



話の素材 (学習資料)





学習のポイント

平成21（2009）年度に全国の国公立私立の小中高校が把握した学校内外での児童・生徒による暴力行為の件数は、4年連続で増加し過去最多の計60,913件に上がったことが、文部科学省の問題行動調査でわかりました。

差別やいじめの現場には必ず「加害者」「被害者」「傍観者」がいます。特に「傍観者」の立場にいたることが差別やいじめを助長しています。

このような現実を踏まえ、すべての子どもたちが安心して学べる人間関係を築くために何が大切なのかについて考えてみましょう。



すすめ方 【60分】

準備物 記録用紙, マジックペン

1. 4～5人のグループをつくります。
2. 最近の我が子のエピソードを中心に自己紹介をします。
3. 「話の素材」のイラストを見て話し合います。
 - ・イラスト（教室内の出来事）を見て話し合います。
 - ・それぞれの考えていることや気持ちを吹き出しに書きこみます。
 - ・誰が「加害者」「被害者」「傍観者」なのか、グループで話し合います。
4. 子どもたちが安心して学べる教室にするために何が大切か話し合います。
 - ・記録者を決め、話し合いの内容をまとめます。
 - ・自分の子ならどう思うか、話し合います。
 - ・イラストの中の様々な立場の子どもたちにできることについて話し合います。
5. グループでまとめたことを発表します。
 - ・それぞれの発表を尊重し、短いコメントを入れます。
6. 数人に話し合いの感想を聞き、ふりかえりをします。





資料

平成21年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」 文部科学省

1 調査結果の主な特徴

- 1) 小・中・高等学校における**暴力行為の発生件数は約6万1千件**と、前年度(約6万件)より1千件増加し、**小・中学校においては過去最高の件数にのぼる**。
- 2) 小・中・高・特別支援学校における**いじめの認知件数は約7万3千件**と、前年度(約8万5千件)より約1万2千件減少している。
- 3) 高等学校における**不登校生徒数は約5万2千人**と、前年度(約5万3千人)より約1千人減少し不登校生徒の割合も1.55%と前年度(1.58%)より減少している。
- 4) 高等学校における**中途退学者数は約5万7千人**と、前年度(約6万6千人)より約9千人減少し、中途退学者の割合も1.7%と、前年度(2.0%)より減少している。
- 5) 小・中・高等学校において**自殺した児童生徒は165人**である。

2 学校内外を合計した暴力行為の発生件数の推移

	18年度	19年度	20年度	21年度
小学校	3,803	↑ 5,214	↑ 6,484	↑ 7,155
中学校	30,564	↑ 36,803	↑ 42,754	↑ 43,715
高等学校	10,254	↑ 10,739	↓ 10,380	↓ 10,038
合計	44,621	↑ 52,756	↑ 59,618	↑ 60,913

